

著者紹介

(執筆順、*は編者)

* 新川 達郎 (にいかわ たつろう)序・11・終

1950年生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科博士後期課程満期退学。同志社大学政策学部教授。

主著：『公的ガバナンスの動態研究—政府の作動様式の変容』(編著、ミネルヴァ書房、2011年)

『持続可能な地域実現と協働型ガバナンス—日本における新しい地平』(共編、日本評論社、2011年)

真山 達志 (まやま たつし)01・02

1955年生まれ。中央大学大学院法学研究科博士後期課程満期退学。同志社大学政策学部教授。

主著：『ローカル・ガバメント論—地方行政のルネサンス』(編著、ミネルヴァ書房、2012年)

『政策形成の本質—現代自治体の政策形成能力』(成文堂、2001年)

山谷 清志 (やまや きよし)03・04

1954年生まれ。中央大学大学院法学研究科博士後期課程満期退学。同志社大学政策学部教授。

主著：『政策評価』(ミネルヴァ書房、2012年)

『公共部門の評価と管理』(編著、晃洋書房、2010年)

今川 晃 (いまがわ あきら)05・06

1954年生まれ。成蹊大学大学院法学政治学研究科博士後期課程修了。同志社大学政策学部教授。

主著：『アジアのオンブズマン—不正・腐敗・非効率と戦うアジア各国の諸機関と日本の行政相談・行政評価』(共編、第一法規、2012年)

『個人の人格の尊重と行政苦情救済』(敬文堂、2011年)

『地域力再生の政策学—京都モデルの構築に向けて』(共編、ミネルヴァ書房、2010年)

今里 滋 (いまさと しげる)07

1951年生まれ。九州大学大学院法学研究科博士後期課程修了。同志社大学政策学部教授。

主著：『アメリカ行政の理論と実践』(九州大学出版会、2000年)

武藏 勝宏 (むさし かつひろ)08

1961年生まれ。神戸大学大学院法学研究科博士後期課程退学、大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程修了。同志社大学政策学部教授。

主著：『冷戦後日本のシビリアン・コントロールの研究』(成文堂、2009年)
『議員立法の実証研究』(信山社、2003年)

風間 規男 (かざま のりお)09・10

1963年生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科博士後期課程修了。同志社大学政策学部教授。

主著：『行政学の基礎』(編著、一藝社、2007年)

月村 太郎 (つきむら たろう)12・13

1959年生まれ。東京大学法学部卒業。同志社大学政策学部教授。

主著：『地域紛争の構図』(編著、晃洋書房、2013年)

『ユーゴ内戦—政治リーダーと民族主義』(東京大学出版会、2006年)